

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : たしま友遊苑

作成日 : 平成25年3月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	方言を交えながらのコミュニケーションをしているが、「しなっせ」「せなんたい」などの命令口調が無意識の中から発してしまう場面がある。親しい存在としての立場と、利用者が人生の先輩であるとの敬意が反転する。	親しい後輩として、方言を使ったコミュニケーションを大切にしながらも利用者が主役である続けるケアにつながるようにしたい。	県内の方言でも、親しい表現と、ぶっきらぼうな表現が地方によって存在し、介護者自身も気づかないことがある。運営者を含めて、持続的な勉強会を実施し、会話力を深めていきたい。3月21日、「虐待防止と言葉かけ」を課題として勉強会を実施した。	随時
2	4 (3)	運営推進会議は定期的実施しているが、家族参加が固定化され、出席されない家族が多い。また、そのような家族からの相談やホームへの不理解が多かったりする。	リスク説明と、ひやりはっと報告を前面に、より時間を使用して当時の具体的内容説明を行っているが、家族理解(出席されない)を得られていない。精力的な参加呼びかけを行ない、ホーム・家族が一体的な運営にしたい。	当面、会議開催通知を行ない、場合によっては、輪番制(毎回4家族程度)を検討し、年1回は最低全家族が参加できるような工夫を検討したい。	偶数月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。